

総務委員会会議録（要点筆記）

令和元年7月30日（火）

午後 1時30分 開会

○岩田玲子委員長

ただいまから総務委員会を開会します。

協議題1、閉会中の調査事項について行います。先日は皆様のご協力により、視察をスムーズに終えることができました。ありがとうございました。

今後は8月14日の多治見市の視察も含め、市への提言をとりまとめていくこととなりますが、まずは皆様からご提出いただいた視察レポートについて、ポイントを2、3カ所ご説明いただいて、情報、意識の共有をはかり、協議を進めていきたいと思っております。

暫く休憩します。

午後 1時31分 休憩

◇各委員が提出したレポートについて説明

午前 1時54分 再開

○岩田玲子委員長

会議を再開します。

8月14日の多治見市の視察にかかる資料を配布させていただきました。（資料3）

多治見市も視察事項は市民討議会です。資料内の質問事項は7月の視察での質問を多治見版にしたものです。質問事項の修正、追加等がありましたら8月2日17時までに事務局にご指摘をお願いします。

当日は市役所に集合、公用車で乗り合わせて行き、視察は多治見市役所で午後1時30分からです。行程の詳細が決まりましたらメールでご連絡いたします。

続きまして、協議題2、その他として、事業評価の評価施策の選定について、例年3施策の評価を行っています。9月定例会が始まる前に決定し、定例会中に3回程度は分科会を開催し評価を行っていきたく考えています。各委員でせめて2から3施策を選定していただき、事務局に連絡をお願いします。

他に、委員から何かございませんか。

○竹部益世企画部長

第7次総合計画の策定にあたり、今回は閉会中の調査事項となっています市民討議会も視野に入れ、市民に無作為抽出によるアンケートを3,000通送付しています。抽出方法は20歳代450、30歳代450と10歳代で各450通を送付するようにしました。ただし18、19歳は按分、80歳から85歳も按分し、全体で3,000通としました。アンケートの回収率は約31%でした。併せて市民会議を開催しますので、参加の意思を確認する文書を同封し、参加の意思がある方については別紙を送付していただくこととしましたところ、今のところ32名の方から参加の意思ありとの回答がありました。送付件数から考えますと1.06%です。32名は高齢層に偏りが生じています。10代（18、19歳）はお一人、20代もお一人、30代、40代は2人ずつ、50代は4人、60代3人、70代が12人、80代（80-85歳）は7人となっています。実際やってみてわかったのは、やはり抽出数に問題があるかなという点です。今回アンケートに市民会議の案内を同封することで時間、手間等を効率化しました。今回こうした形で市

民会議を開催し、今後の参考としていきたいと考えています。口頭となりますが、現状の報告をさせていただきました。何か、ご質問等がありましたらお願いします。

○加藤美幸委員

参加者への報酬の有無、開催時間、またファシリテーターはどういった方がされますか。

○竹部益世企画部長

報酬はありません。開催は土曜日の午前中です。ファシリテーターは総合計画の策定支援の地域問題研究所が行う予定です。申し込みは32名ですが、市民会議は50名を予定していますので不足する分は特に若い層に向けてアプローチを行う予定です。

○坂井美穂副委員長

今回の手法は今までも実施してきたものですか。また、総務委員会で今回視察し、学んできた市民討議会との内容の差異を教えてください。

○竹部益世企画部長

市民会議という手法は前回の総合計画策定時にも行っています。前回までは市民会議の参加者を公募で行い、並行して各種団体にも声かけを行っています。今回もそれを行いながら無作為抽出のアンケートで参加を募るというものを加えたものです。

○坂井美穂副委員長

市民会議のファシリテーターは委託事業者の地域問題研究所とのことだが、そこで行われる話し合いは、視察で学んだようなワークショップ形式のようなことが行われますか。

○竹部益世企画部長

やり方は決まっておりません。視察であったようなやり方をするかどうかは決まっています。

○岩田玲子委員長

他に何かございませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これをもちまして総務委員会を閉会いたします。

午後 2時 3分 閉会